

1	審議会名	真田地域協議会
2	日 時	平成26年2月19日(水) 午後7時00分から午後9時00分まで
3	会 場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	一之瀬勤委員、内海美香委員、佐藤論征委員、関貞徳委員、田中新平委員 長崎伊登子委員、半田榮範委員、古市正明委員、松井よし枝委員、丸山進委員 山宮浩美委員 【欠席委員】9名
5	市側出席者	高橋センター長、藤沢地域振興課長、山宮市民参加・協働推進課長、 西澤市民生活課長、若林健康福祉課長、滝澤産業観光課長、中山建設課長 佐藤上下水道課長、柳沢教育事務所長、佐藤消防署長、滝沢地域政策係長 北沢市民参加・協働推進担当係長、林主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ <del>一部公開</del> ・ <del>非公開</del>
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年2月27日
協 議 事 項 等		
1	開 会 (関副会長)	
2	<p>会長あいさつ (半田会長)</p> <p>立春もとうに過ぎ、雨水を迎えて暖くなるはずのところ寒さが続いている。これまでに経験のない大雪で皆さんも混乱していることと思う。終盤にかけての協議会であるが本日は地域内分権についての説明もあり、また、最終の分科会報告をしていただくので意見等を出して欲しい。</p>	
3	<p>センター長あいさつ (高橋センター長)</p> <p>今回の大雪は上田地域で76cmを観測、これまでの記録が昭和21年の65cmであり観測史上最高を記録した。これにより様々な影響が出ており、積雪による車線の減少などから激しい渋滞が発生している。真田地域でも建設課を中心に地元の業者に依頼して除排雪作業を進めている。お気付きの点などあれば御連絡願いたい。</p>	
4	<p>会議事項 (進行：半田会長)</p> <p>～会議事項に先立ち副会長から新任委員の紹介～</p> <p>(1) 地域内分権について</p> <p>(会長) 担当課から説明願います。</p> <p>～資料に基づき山宮市民参加・協働推進課長から説明～</p> <p>(会長) 只今説明いただきましたが、質問、意見交換の時間を取ります。質問等ありますか。</p> <p>(委員) 9つある地域協議会のなかで地域経営会議の具体的なイメージを作り、進めようとしているようなところはあるか。</p> <p>(山宮市民参加・協働推進課長) 他地域の取り組み状況は、川西地域協議会で研究が進められているほか、神科・豊殿地域では地域協議会での研究のほか、豊殿地区振興会でも研究が重ねられている。丸子地域協議会でも研究が進められている。9つの地域協議会のうち取り組みが進められているところは6つある。</p> <p>(会長) 地域協議会で地域経営会議というものを立ち上げているということか。</p> <p>(山宮市民参加・協働推進課長) 地域経営会議を立ち上げているところはない。来年度にいくつかのモデル地区を設定する予定。新たな住民自治の仕組みについて各地区で説明を行った際に様々な意見をいただいている。いくつもの組織が出来てしまうという懸念や地域協議会で十分ではないかというものだが、モデル地区を設定し検証しながら、それぞれの地域の実情に</p>	

合わせて取り組んでいきたいと考えている。川西地域では地域協議会と自治連が同じエリアであり一定の枠組みを作りやすく、地域協議会の委員をベースに地域で活動されている団体の代表者を加えた構成で地域経営会議を立ち上げてはどうかと研究されている。構成の枠組み自体は地域によって変わるものと思うが、基本は地域協議会の組織があり自治会代表者や各種団体の代表も選出されているので、これをベースにさせていただくことも良いかと思う。

(会長) まちづくり活動拠点整備を具体的に説明願いたい。

(山宮市民参加・協働推進課長) 地域内分権の取り組み第2ステージ、第3ステージにおいて、まちづくり活動拠点整備を行った。第2ステージでは豊殿地域自治センターの改修に併せて拠点室を設け、第3ステージでは塩田・川西の各地域自治センターと城南公民館の新築に併せて拠点整備を行い、地域の皆さんが自由に立ち寄り、まちづくりについて話し合う場、地域活動に利用いただける場を整備した。

(会長) 各委員から質問等出していただきたい。協議会の各分科会でも検討していただいたこともあると思うので意見等出していただきたい。

(委員) 新たな住民自治組織のイメージが湧かないため何を質問したら良いか判らないという点が問題と思う。地域内分権の方針を出している他の市町村も多くあるので早急に方針を立てていただきたい。

(山宮市民参加・協働推進課長) 現在は住民に密着した地域の取り組みを自治会が行っているが、新たな住民自治の仕組みは、もう少し広い範囲、いくつかの自治会で共通して取り組むことにより、効率的にできるのではないかと地域の課題を出して取り組むこと。川西地域は10の自治会が1つの地区自治会連合会を形成しており、そのなかで課題を持ち寄り、一緒にできるものがあれば個々の自治会の負担が減ることもあり、皆で何とかしようとする取り組み。そこでは自治会、そして地域協議会委員も中心になり、地域で活動されている各種団体の皆さんも加わり、少し広い範囲で課題解決に向けて、誰が何をいつ行うか、費用はどの程度要するのか等を検討していただく。必要な経費については市からの交付金を用いて地域で行っていくという考え。交付金の制度設計が出来ていないので具体的な話ができないが、このようなイメージである。いくつかのパターンを用意し示していきたいと考えている。26年度に設置するモデル地区において職員も共に取り組み、これをベースに新しい住民自治の仕組みを上田市独自のものとしていきたい。

(委員) 地域協議会すら住民に馴染みがない組織ではないかと感じるなかで新たな住民自治組織が市民の理解をどれだけ得ることができるか、上から押し付けられたような形では上手く機能しないのではないかと心配する。これら組織がいかに住民に馴染んでもらうかが大きな課題になると思う。

(山宮市民参加・協働推進課長) 地域協議会の様々な活動を住民の皆さんに発信していくことが欠けていたように思う。地域協議会の活動も10年を数えるまでになるが、活動の住民周知が不足していた。情報発信に努めていきたい。

(委員) 委員の委嘱を受けた際に地域内分権の講演を聞いたが、聞けば聞くほど判らない。まちづくり活動拠点整備ということでは城南公民館を良く利用するが、大変に広い年齢層の住民が利用し交流している。まず足元のまちづくり拠点整備から入っていくと地域内分権も光が見えてくるのではないか。

(山宮市民参加・協働推進課長) 只今の御意見のような、こうしたら良いのではないかとといった地域のことを、新しい住民自治組織のなかで課題として出して皆で話し合っていたいただきたい。

(委員) 新たな住民自治組織ということだが、地域には自治会の規模に大小の差があるが、組織としてある程度大きくするというのも考えているか。

(山宮市民参加・協働推進課長) 住民自治組織というと最も住民に身近な組織として自治会を思い浮かべると思うが、ベースは自治会である。真田地域には自治会単位に地域づくり委員会があり地区担当職員も一緒になって地域の課題等に取り組んでいるが、これを少し広い範囲で行うというイメージを考えている。

(委員) 各団体の代表が協議会委員として参加しているが、協議会委員に分かりやすく説明していただかないと、委員が各団体へ帰って団体の皆さんに説明ができない。これからの流れや内容を分かりやすい言葉で説明していただきたい。

(山宮市民参加・協働推進課長) 分かりやすさについて課題と感じている。出来得る限り分かりやすい言葉を用いた分かりやすい資料を検討中であるので、早い時期に再度説明できるようにしたい。

(委員) 地域づくりから始まった地域協議会という中での問題提起など、菅平が真田地域自治センターを基軸として行ってきたことは間違いではなかったと感じている。

(山宮市民参加・協働推進課長) 地域の特色というものは重要と考える。出来得る限り地域の実情にあった組織化、地域の特色を出せるもの、地域の特色を利用するものをそれぞれの地域で組み立てていきたい。

(委員) 地域経営会議という名称とその組織がどのような働きをするのかについて、かなりの関心を持たなければ分からない。関心が低い人にも伝えられることが必要であると考えている。

(山宮市民参加・協働推進課長) 住民の皆さんに分かるように説明していかなければならない。分かりやすい資料を取り揃えて再度、説明に伺いたい。

(委員) 分かりやすさをキーワードに前進することを期待したい。懸念するのは屋上屋、組織の上に組織を重ねるという懸念が払拭できないのでこの辺りが入口かと思う。

(山宮市民参加・協働推進課長) 出来得る限り負担を減らす、この方向性を持った取り組みを進めたいと考えている。住民の皆さんが手を携えて地域をどうしていったら良いのかについて、行政側からの提案ではなく、現行の地域づくり委員会の手法を基本的なイメージとして、自分達の地域をこのようにしていこうという課題を出しながら自治会より少し広い範囲で取り組んでいただけたらと思う。

(会長) 地域づくり委員会を上手く活用してという話が出たが、地域づくり委員会と地域協議会との接点が無い。その辺りを今後どうしていくか課題と思う。地域づくり委員会で出されるような細かいことが地域協議会に挙がってくることも必要ではないかと感じている。

(会長) そのほかに質問・意見等ありますか。

**【質疑・意見等】**

- ・ なし

**(2) 地域振興基金の活用について**

(会長) 事務局から説明願います。

～資料に基づき、各担当課長から説明～

(会長) ただいまの内容について、質問などありますか。

(会長) 25年度実績について、これが最終決定か。12月の報告から200万ほど下がっているが、内容的に何が異なっているか。

(滝澤産業観光課長) 周遊バスについて当初はもう少し長い期間を想定していたが、運賃低減バスとの関係もあり6月から8月の試験運行となって金額が下がった。

(会長) 26年度基金活用計画が12月の報告から事業が増えているが、取りまとめは何時行うものなのか。

(滝沢地域政策係長) 12月は予算要求の段階での取りまとめであり、その後財政課の査定を受けるなかで額の減少もあった。また、増加事業分については、当初は基金の充当をせず予算要

求したもののうち、基金を充当して早急に実施したい事業を選び基金充当をお願いしたものである。

(会長) そのほか無ければ、地域振興基金の活用について地域協議会として認めてよろしいか。  
・ 全員了承

**【決定事項】**

・ 平成 26 年度地域振興事業基金活用計画を真田地域協議会として承認。

(3) 分科会協議最終報告

(会長) 分科会協議の最終報告をしていただきたい。以前に中間報告をしていただいておりますが、それから変更点等があれば、それを中心に説明願いたい。

～資料に基づき、田中第 1 分科会長から最終報告～

(会長) ただいまの報告に対して質問、意見などありますか。

**【質疑・意見等】**

・ なし

(会長) 無ければ、第 2 分科会お願いします。

～資料に基づき、佐藤第 2 分科会長から最終報告～

(会長) ただいまの報告に対して質問、意見などありますか。

(委員) ギャラリーバスへ文化協会所属の各団体が協力しているが、雪の影響で傍陽線が運休しているなどで上田中心市街地へ行って真田方面に乗ってこなければ見ることができない。家族や大勢の皆さんに見ていただきたいが。

(会長) ギャラリーバスの運行状況はどのようになっているか。

(中山建設課長) 雪の影響で運休など御迷惑をお掛けしている。明日から傍陽線も一部運行となっている。ギャラリーバスは菅平線と傍陽線で運行しているが雪の影響もあり乱れている状況である。

(会長) そのほかにありますか。

**【質疑・意見等】**

・ なし

(会長) 無ければ、第 3 分科会お願いします。

～資料に基づき、山宮第 3 分科会長から最終報告～

(会長) ただいまの報告に対して質問、意見などありますか。

**【質疑・意見等】**

・ なし

(会長) 無ければ、3つの分科会からの報告を最終報告書として真田地域自治センター長に提出します。

(4) その他

(会長) 各委員から何かありますか。

**【質疑・意見等】**

・ 特になし

5 その他

第 11 回協議会の開催予定について

(副会長) 次回の協議会の日程について、3月 17 日月曜日午後 2 時から予定していますが、いかがでしょうか。

**【質疑・意見等】**

- ・ 特になし

**【決定事項】**

・ 第 11 回真田地域協議会の開催は、平成 26 年 3 月 17 日（月）午後 2 時～  
（副会長） 行政からの連絡事項を願いたい。

（滝沢地域政策係長） 地域協議会委員への事務連絡等について

～わがまち魅力アップ事業選考基準について、地域協議会委員アンケートについて、他地域の協議会活動内容について～

6 開 会